

審判員は、当協会登録の選手やチーム代表者/副代表者または当協会が認めた者であって、かつ日本サッカー協会公認サッカー審判4級以上の資格を有し、本部集合時にその審判証を提示できる者とする。

30分前	集合	審判3名全員が、審判服を着用の上、担当試合30分前までに本部に集合すること。 その際、サッカー審判証を提示し、運営ノートに来場時刻の記帳と署名をし、対戦カードを確認する。 ※審判資格証は、スマートフォン画面や「審」押印の選手証で代用できる。 ※遅刻や審判証を提示できない場合は欠席扱いとなる。 ※審判用具（笛/時計/カード/筆記具など）を持参し、審判ワッパンを審判服に付けること。
	打ち合わせ	審判団全員、運営当番、運営責任者で、当マニュアルやユニフォーム規定を使用して打ち合わせる。
	ユニフォームの確認	1) 出場選手表で、両チームのユニフォームの配色をチェックする（FP同士、GKとFP）。 2) <b>本部が、FP同士またはFPと相手GKのシャツ/ソックスが区別困難と判断した場合、着用するユニフォームはコイントスによりで決定。</b> 3) 濃色（黒/紺/茶）シャツのチームから、黒色以外でかつ相手チームの色彩の異なるシャツの審判服を無償借用する。 4) 同一個人が、GK/FPの両方で出場する場合も背番号は同一でなければならない。 5) GKが複数の場合、ユニフォームの配色は統一されていなければならない。ただし負傷や退場時はこの限りではない。
15分前	選手チェック	副審1名と本部の1名による2名一組で、チェックエリアに行き、出場選手全員を以下の手順でチェックする。 1) 出場選手票を一旦チームに返し、ユニフォーム等についてセルフチェックさせる。 2) 副審が出場選手票の背番号を読みあげ、姓名を返答させ、ユニフォーム等を確認する。 本部の1名が、顔写真を確認する。問題が無ければ、出場選手票のチェック欄にチェック印を記入する。 3) 主審は、両チームのユニフォームなどの確認漏れを再チェックする。 本部が、FP同士またはFPと相手GKのシャツ/ソックスが区別困難と判断した場合、着用するユニフォームはコイントスによりで決定。 ※ チェック済選手が7名未満の場合は、本部前に両チームを集合させ不戦敗を宣言する。 ※ チェック未完了(遅刻)選手は、本部での選手チェック後、後半から随時出場できる（ただし十分に準備運動を促す）
5分前（入場）		本部席前にてコイントスをする(ジャンケン不可)。入場方式は、大会により異なるので本部に確認すること。
試合中	選手交代	・アウトオブプレイ時に本部から選手交代要請があった場合、 out選手を最寄のラインより出るよう促し、in選手は本部前から入れる。人数を確認する。 ・選手は随時何人でも交代可。また交代で退いた後の再出場も可能（再交代可）
	予備球	・二子玉川BCは、主審が「外に出たボールの戻りが遅い」と判断した場合にのみ、本部に予備球を要求する。 ただし、少年野球場や養生中グラウンドにボールが入った場合は、無条件で予備球を投入する。 ・総合運動場は、マルチボールとする。スパイクでの外周走路への踏み入れが不可なため。
	確認事項	主審 = ホイスル（電子ホイスルは不可）は強くはっきりと吹くこと。 副審 = オフサイドまたはファール表示後、主審が認知するまで旗を揚げたままにする。球拾い不要。
	飲水タイム（本部に確認）	1) 主審は、前後半の中間のアウトオブプレイ時に飲水タイムを宣言する。ハーフウェイ付近を推奨。 2) 飲水タイムは移動を含め1分以内とする。試合時間内に含める（余分に追加しない）。 3) 飲水タイム中、ベンチから指示をしないよう、審判が促す。選手交代は可能（ハーフタイムと同様）。
	クーリングブレイク（本部に確認）	1) 主審は、前後半の中間のアウトオブプレイ時に、クーリングブレイクを宣言する。ハーフウェイ付近を推奨。 2) ブレイク時間は、ベンチ内で3分(3分+α)とする。試合時間内に含める（余分に追加しない）。 3) 選手交代は可能（ハーフタイムと同様）。
	アディショナルタイム	アディショナルタイムは原則設けない。ただし以下により時間を空費した場合に最大5分間追加できる。 1) GKの治療をする場合（交代時間を含む） 2) 重大な怪我でその場での治療が必要な場合、救急搬送時やそれに伴う処理などが必要な場合
	7名未満	<b>怪我や装具等の問題でピッチ内選手が7名未満となった場合、試合続行のまま、5分間を計測する（主審と本部の両方で計測）。</b> <b>選手復帰に5分以上要する場合、または5分以内に前半や試合が終了しない場合は、当該チームの敗戦とする。</b>
試合中の中止	その時点の結果で試合成立。ただし前半中は再試合。区民体育大会で後半開始後の同点時は後半から再試合。	
試合終了後	試合結果、警告者背番号、退場者背番号(退場種 S1～6)とその詳細、問題点を本部に報告する。	
その他	・審判・選手とも装身具、眼鏡は不可。ただし樹脂製かつベルト付ゴーグルタイプのスポーツ眼鏡、炎天下の副審のキャップ型帽子(首紐無)は認める。 ・落雷や洪水の危険を感じたら、中断を宣言し、避難を呼びかけ、自らも避難する。 ・審判は、総合運動場ではスパイク不可（芝保護のため）。 ・二子玉川に自動車で来場した主審にのみ「駐車料金免除券」が配布される（当日のみ有効）。 ・主審は、審判受付後（試合開始30分前）から競技者に退場を命じることができる。命じた場合その理由を協会に報告する。 ・「PKマークからのキック」を行うゴールは、二子玉川グラウンドについては東側、それ以外はコイントスで決定する。	